

# 一般質問16人が登壇

紙面の都合により、質問と答弁の要点のみ掲載しています。市議会会議録は、議会事務局、図書館、公民館、庁舎、地区行政センターなどの公共施設、またはホームページにて閲覧できます。  
なお、9月定例会会議録は12月中旬から閲覧可能です。

## 北野 唯道

### 問 市税の滞納について

**答** 平成24年度滞納繰越額は個人市民税で約2億3697万円、固定資産税で約7億6780万円、軽自動車税で約1133万円、国民健康保険税で7億8551万円、後期高齢者保険料で343万円、介護保険料で約1897万円、全体では約18億3215万円となっている。

**問** 平成25年度全国学力テストについて福島県は全国47都道府県中44番と低い成績で学力低下が報道されているが。

**答** 県教育委員会は全国学力調査の結果を踏まえて教員の指導のあり方に改善の余地がある。

**問** 白河市内の小中学校の先生に指導力不足の先生はいないのか。

**答** 各学校に指導主事を派遣し教員の指導を行っている。

**問** 白河市の入札について仮

置場の入札で指名業者の選定に当たっては市内業者の育成を図るべきであり準市内業者を指名するのは問題があったのではないかと。

**答** 市としても市内業者の育成という観点は重要であると認識している。市民から疑惑の目を向けられないようにしたい。

## 緑川 撰生

**問** 市民協働、市民参画の推進について

地元市民や、ふるさとを離れていても、白河市のお役に立ちたいと思う人たちが、震災以降特に増えていると耳にする。そのような方々が活動しやすい、環境づくりをどのようにするのかを、尋ねる。

**答** 白河市においては、市民、そして県外からのボランティアやNPO団体による、仮設住宅への支援活動や、そのほか様々な取り組みが行われている。なかでも、現役大学生

が開催した「しらかわウィーク」は、若い世代が白河市の未来を思い、活動していることで、大変嬉しく思う。

このような本市のために、役に立ちたいと希望している方々の、相談の窓口になるよう、3年前に地域支援課を設置した。

今後は、市民協働の推進を図るため、市民活動団体と行政、それぞれが持つ知識や知恵を出し合い、活動の成果が十分出せるよう、様々な支援を行っていく考えている。



しらかわウィーク シンポジウム

## 室井 伸一

**問** 老朽化するインフラの維持管理について

**答** 平成21年度から、橋梁や市営住宅、下水道施設の調査点検を行い、各々の長寿命化計画を策定したところであり、

その結果を踏まえ、今年度からまず、橋梁の修繕に着手したところである。長寿命化計画は、大規模な修繕を行う事後保全から、軽微なうちに補修する予防保全に転換することにより、コストの縮減と、社会資本の長寿命化を図っていくものである。さらに今年度から、コンクリート片の落下などにより、第三者への被害が想定されるトンネルや橋梁等の集中点検に着手したところである。今後は、長寿命化計画と集中点検結果の内容を踏まえるとともに、国の防災・減災、老朽化対策に関する各種施策と連動しながら、計画的な社会資本の修繕を行っている。



結城市営住宅

## 大竹 功一

**問** 市内一斉清掃の目的は何か。草木等の処理ができず問題となっているが、市はどう考えているのか。

**答** 目的は市民が一体となって市内の美化活動を行うことである。現在、草木等を燃焼させると焼却灰に放射性物質が増加するため、センターにおいて個人のを除き規制がされている。今後、広域組合等と検討していきたい。

**問** 市民から一斉清掃時の市職員等の参加が話題となる。指導はどうか。

**答** 市長から部長会を通じて職員は積極的に清掃に参加するように指導している。

**問** 市長・副市長は職員の模範となるべきと考える。ちなみに今年の一斉清掃、どのような活動に参加されたのか。

**答** (副市長) 横町町内会の一員として阿武隈川沿岸の草刈等の清掃活動を行った。(市長) 大工町の周りの清掃活動を行った。

**問** 市道等の雑草はどうするのか。

**答** 予算に限りはあるが、今後処理したいと考えている。

**問** 鈴木市政2期目の折返しを迎えたわけだが、これまでの総括と今後の抱負を問う。

**答** 市長に就任した際の環境は大変厳しく、本市も例外でなく財政の健全化は喫緊の課題であった。そのため事業採択に際し、国の補助や交付金活用と特別交付金の確保に努めた。また産業サポート白河を設立し地場産業の振興と企業誘致に取り組んできた。更に中心市街地活性化計画、歴史まちづくり計画の認定を受け、まちづくりを進めてきた。大震災と原発事故による不安や障害があったが、ヤフーや三菱ガス化学の誘致にこぎつけ、市民や各種団体との連携協力で、復旧の目途がついた。市民と行政が同じ方向を向き歩み始めていることを実感しており、更に推進したい。

**問** 生活道路の整備で改良率、舗装率及び整備費用の推移、整備費用の捻出等について伺いたい。

**答** 改良は586kmで58・4%、舗装は696kmで69・4%である。整備費の推移は横ばいでH20年を基準に5年間の平均で8億弱であり、整備にあたり国の補助事業を最大限に活用し限られた予算で整備の促進に努める。

**問** 地域防災組織の実態と今後の展開について

**答** 地域消防団組織を除き市全体で組織率は24%である。現行の地域消防団では地区によって手薄になる所も有るので優先的に自主防災組織の結成に向け必要な支援活動を行っていく。

**問** インターネットに掲載している市のHPで各部課所の編集内容に温度差が有るが管理状況を伺いたい。

**答** HPを管理監督するのは市長公室であるが、各部課所の長に掲載する責任を与えているので編集及び更新をタイムリーに出来るよう再度周知させる。

**問** 成年後見制度について申し立ての件数は

**答** 家裁白河支部平成24年1年間で29件、市長申し立て1件、平成25年も1件である。

**問** 市民後見人養成について

**答** 高齢化が進み必要性は高まると予測されるが状況を把握しながら対応する。

**問** 町内会加入対策について

**答** 本市の加入率は76・4%であり平均的な加入率ではあるが町内会と連携を図り、ホームページや「町内会加入の案内」チラシで促進を図りたい。

**問** 障害者優先調達推進法について

**答** 早期策定に向け検討し、各課所と協議し、可能な限り幅広い分野から物品の調達や役務の提供に努める。

**問** 都市計画道路西郷掬目線西原工区について

**答** 西郷村と事業主体、負担割合等について協議を行っているが、道路需要や整備効果、将来的な道路網等を総合的に判断し、実施時期等については、これらを踏まえ、検討していきたい。



西郷掬目線（結城工区）

縄田 角郎

**問** 都市再生整備計画「白河北部地区」について、大信地域の現状と将来の予測をし、鈴木市長より事業計画の思いなど全体像について伺いたい。

**答** 工業の森・新白河の道路を現在整備中であり、来年度からは、地元産の農産物を扱う直売所・人々が集うことができる飲食店の機能を兼ね備えた「観光交流センター」の整備の計画を行う。

**問** 小中一貫教育・小中一貫校について・大信地域における教育環境整備について伺う。

**答** 地域協議会と保護者の方々を始め、地元の方々と考え

を十分聞きながら、より望ましい小学校教育が早期に実現できるように進めたい。

**問** 農業用施設（結）支援事業について伺いたい。

**答** 支援する原材料費の限度額など、要望箇所の特異性を考慮し、限度額の見直しを図るなどの事業を推進したい。

**問** 白河市畜場条例について、使用料の納入関係について

**答** 県内自治体の状況を調査し、国民健康保険、介護保険等の社会保障制度内の住所地特例等を参考に検討したい。



更地となった大信庁舎、今後は。

玉川 里子

**問** 白河市の将来と展望について、工業関係について伺う。

**答** 工業の森・新白河B工区造成工事の進捗状況は、75・4%に達している。年内完了、年度末には三菱ガス化学に引渡しとなる。なお、新設増設併せて25社が計画、28年度末までに約470億円の投資と約400人の新規地元雇用が見込まれている。

**問** 町づくりについて何う。中心市街地活性化事業5ヵ年計画最後の年ですが、今後どのように進めるのか。

**答** 国の方針も支援拡充を図るため、基本的には有効である。歴史的町づくりを両面から進めていく。

**問** 福祉行政について、子育て支援で不妊治療について伺いたい。国は特定不妊治療対象の年齢制限を設ける予定だが、市の方針は。

**答** 市においては現在どおり引き続き支援に努める。

**問** 児童虐待について何う。

**答** 児童や家庭の環境の変化により、件数も増加傾向になり、相談内容も多様化され複雑、育児放棄など様々で相談員を1名増員し虐待を無くす、減らす。早期発見や未然防止に努めてまいる。

## 飯 村 守

**問** 白河地方広域市町村圏整備組合内に構成市町村が抱える、税の滞納整理部門の設置が検討されているが、その業務内容等について何う。

**答** 構成市町村は恒常的な滞納者の増加と滞納処分に苦慮しており、その対応策が課題となっており、これが、解決策のひとつとして、広域的な滞納整理の組織を立ち上げ、県南地方が一体となって厳正な滞納処分を実施することにより税の公平性が保たれるものと判断され、現在、滞納整理準備室を設置し、各自治体から引き受ける基準や条件等について検討されている。今後構成市町村の12月議会に組合規約の改正案を提案し議決を受けた後、県への申請を経て、平成26年4月から組織を立ち上げる予定となっている。業務内容としては、納税資力が十分ある高額滞納者や大口滞納事案の中から、広域で取り組んだ方が効果的であると判断できる事案を取り扱うことが計画されている。



## 石 名 国 光

**問** 汚染水問題は、東電の危機管理体制の欠如と東電任せにしている政府にも危機管理が薄いと感ずる。市民の「安全と安心、不安解消」に向けて国が総力を挙げる時期と考えるが、考えを何う。

**答** 汚染水問題に、国が全面に出ることを明確にしたことは評価するが、原発事故の収束と、さらには福島県が抱える徐染や損害賠償風評被害など事故に起因した問題に国が総力を挙げ全力で対応すべきであると考える。

**問** 循環バスで公園東口で降りたお客が迷うなど不便をきたしている公園内に停留所を新設できないか何う。

**答** 公園内に停留所を新設する場合、東側から進入しUターンするルートになるが、その際にはUターン場所の確保が必要である。しかし、翠楽苑付近では店舗前などに来客用の駐車スペースがあり、バスの回転に十分なスペースの確保が困難であり、さらに、春・秋のシーズンには混雑が予想されるので公園内への停留所の設置については難しいと考える。

## 藤 田 久 男

**問** 経営安定対策について。10アール当たり543キログラムについて。

**答** 国は3等米以上に相当するように1・7ミリ以上と定めている。

**問** 1・7ミリでは販売としてダメだと思うが、水田協議会はどのように考えているか。

**答** 白河市農業再生協議会では、単収及びふるい目について議論された経緯はない。

**問** 除雪対策について

**答** 今年1月の大雪の除雪問題を踏まえ状況に応じて自主的にできるような基準を見直す。と除雪体制の強化を図る。

**問** 当初予算で取ることではないか。

**答** 除雪費当初予算は通常見込みで計上しており、異常気象等については予備費や補正予算で対応している。

**問** 道場小路交差点の図書館道路進入路工事について

**答** 建設検討委員会を開催し三角形の敷地でありその結果、道路を変更することとした。

**問** 道路について説明はなかったのではないか。

**答** これから必要があるものは説明をしていく。

## 吾 妻 一 郎

**問** 市水道水の水源の所在地と取水方法と原水及び浄水後の放射線量について何う。

**答** 上水道で現在稼働中の取水地とその取水方法は、白河地区が西郷村大字長坂字川田地内の浅井戸と西郷村大字熊倉字長ヲサ地内及び、同じく大字小田倉字後原地内の深井戸、表郷地区は金山字拝原地内の浅井戸、東地区は釜子字矢越山地内の深井戸、そして西郷村大字真船地内にある堀川ダムの水。簡易水道では白河地区が舟田中道地内、大塚田地内、表郷中野字岩崎向地内の深井戸、大信地区が隈戸地内の国有林及び西郷村大字



除雪作業の様子

羽太字中久保地内の湧水3カ所と上新城字六斗蒔地内の深井戸である。

放射性物質の検査は、浄水では2週間に1回の割合で9カ所の水源を検査している。飲料水についての国の基準値は10ベクレル以下となつていますが、すべて1ベクレル未満であり、現在まで基準値を超えたことはない。

### 柴原隆夫

南湖公園の松の激変について  
**問** 現在までの松の総伐採本数はどのくらいか。

**答** 1691本を伐採している。また、124本の伐採駆除が早急に必要である。

**問** 大変な本数である。これまでの防除対策だけでなく先進地（成功）事例の調査研究が必要と思われる。

**答** 比較的、先進地である西日本地方などを中心に調査研究を行つてまいる。

**問** カタールフレンド基金について、カタール国の人口は福島県より少なく、国土面積は秋田県・経済規模は静岡県くらいの小さな国である。陸上競技場等の整備は当市の財源で行いカタールの貴重な浄財である基金の活用を控え、

当市より大きな被災を受けた沿岸部や原発周辺の方々がこの基金を活用すべきと思う。

**答** カタール国の基金を活用し陸上競技場を整備し、健康スポーツセンターを新設し被災された市民のほか、原発周辺地域から避難されている方々の健康保持やスポーツ面から支援していきたい。

### 佐川京子

**問** 国道294号白河バイパスの整備計画について

**答** 県南地区の重要路線として県は、今年3月から用地測量に着手、現在幅杭打設を進めている。引き続き用地補償を順次進める。市も県と連携し、全力で事業を進める。

**問** 市道の整備舗装計画について

**答** 舗装率は、現在69・4%であるが目標は、平成29年度に72%を設定している。

**問** 道路の環境美化について

**答** 今後もパトロールや看板の設置、啓発に取り組む。

**問** 市内3大観光スポットの整備について

**答** これらは観光振興のシンボルであり市民の安らぎの場なので、適切に管理し後世に良い状態で受け継ぐため観光

課や観光開発係を設置した。  
**問** 学校教育の充実について

**答** 一人一人に目をかけ子どもを伸ばしていくことについて市教委の指導主事が各学校を訪問し、具体的に助言している。

### 市内3大観光スポット



小峰城



南湖公園

### 深谷弘

社会保障制度改革について

**問** 政府は、臨時国会冒頭に社会保障制度改革の全体像及び進め方を明らかにする「プログラム法案」を提出する予定である。「社会保障改革推進法」（昨年8月成立）に基づき、自助・自立を基本とし、共助によって補完し、対応できない場合は公助という考え方で、社会保障への国の責任を放棄し、公費を徹底的に削減する方向が打ち出されているが、どのように考えるか。

**答** 社会経済情勢が大きく変わっているので、これまでのシステム（もっぱら公助がメイン）を維持できない。基本的な方向としては、やむを得ないと考える。



白河の関

生活保護基準引下げの影響  
**問** 8月1日より生活保護基準が引き下げられたが、市においてはどのような影響があったのか。

**答** 87・5%は単身世帯。そのうち70歳以上の単身世帯（月310円減）が最も多く、次に60代単身世帯（月70円増）が続く。1カ月当たりの支給総額は5万2000円減額となった。

### 傍聴席

9月定例会の傍聴者数は次のとおりです。（延べ人数）

9月13日（金）	29人
17日（火）	13人
18日（水）	11人
24日（火）	2人



9月定例会傍聴風景